

Title	学内合意形成における問題発生とその克服
Author(s)	前田, 信治
Citation	
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/14132
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

学内合意形成における 問題発生とその克服

大阪大学附属図書館学術情報整備室

前田 信治

学内合意形成大失敗！

阪大連合



片山会内



前田組

前田 信治

阪大の機関リポジトリにおける 学内合意形成過程(1)

- CSI事業の委託

↓ IR はじめたい！

- 図書館内でWG作って分担決めた
- サーバ買った
- それらしく初期コンテンツ(博士論文・紀要)を入れた

↓ 大学上層部に説明に行った！

すると……

阪大の機関リポジトリにおける 学内合意形成過程(2)

「教員は忙しいんじゃ！教員基礎DBの登録率が悪いのに、
このうえまだ著作権処理の許諾がなんちゃらとかゆうて、
教員に手間取らせる気かい、

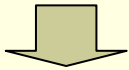
ゆるっさーんっ！！！！」

(某元理事)

↓
「博士論文とか紀要 **くらい** だったらいいよ」

阪大の機関リポジトリにおける 学内合意形成過程(3)

- 当面の阪大図書館の機関リポジトリ活動指針
「みんな、大々的に学内に広報してやるんじゃないくて、
目立たないようになるべくこっそりやろうね」



- 失敗事例も貴重な報告……
「ねえねえ、阪大の失敗、学外の集まりで報告してもいい？」
と上司に尋ねてみた。



すると……

阪大の機関リポジトリにおける 学内合意形成過程(4)

「黙ってるほうがいいんじゃない？」



我慢できなくなって、平成19年11月22日 のDRF岡山
で あらいざらい暴露してきた。



すると……

阪大の機関リポジトリにおける 学内合意形成過程(5)

「もういい、もういい、

わかったっ！！」

阪大の機関リポジトリにおける 学内合意形成過程(6)

- 方針に従って 目立たないようになるべくこっそり
博士論文と紀要の電子化に努力 (つらい……)



- そろそろいいだろう……
博士論文に力を入れ600点に……
再度大学上層部にグリーン論文収集の許可を申請



すると……

阪大の機関リポジトリにおける 学内合意形成過程(7)

「反対していたあの理事さんがいなくなったからゆって、
急に変わられへんわ。もうちょっと、様子みよう……」



- それから更に1年……
博士論文に力を入れ860点超……
紀要論文の急激なIR搭載件数の伸び2600点……



- 年度計画達成の評価欄に附属図書館の機関リポジトリ
に「特筆すべき成果」の記載あり

機関リポジトリ活動開始のために(1)

- 学内合意形成
- 機関リポジトリサーバシステム導入
- 初期コンテンツ形成

- 収集方針の確立
- 作業分担体制の確立
- 教員・各部局への広報戦略
- 学内予算の確保
- 機関リポジトリサーバシステム改修

機関リポジトリ活動開始のために(2)

順番

(1) 学内合意形成を得てからスタート？

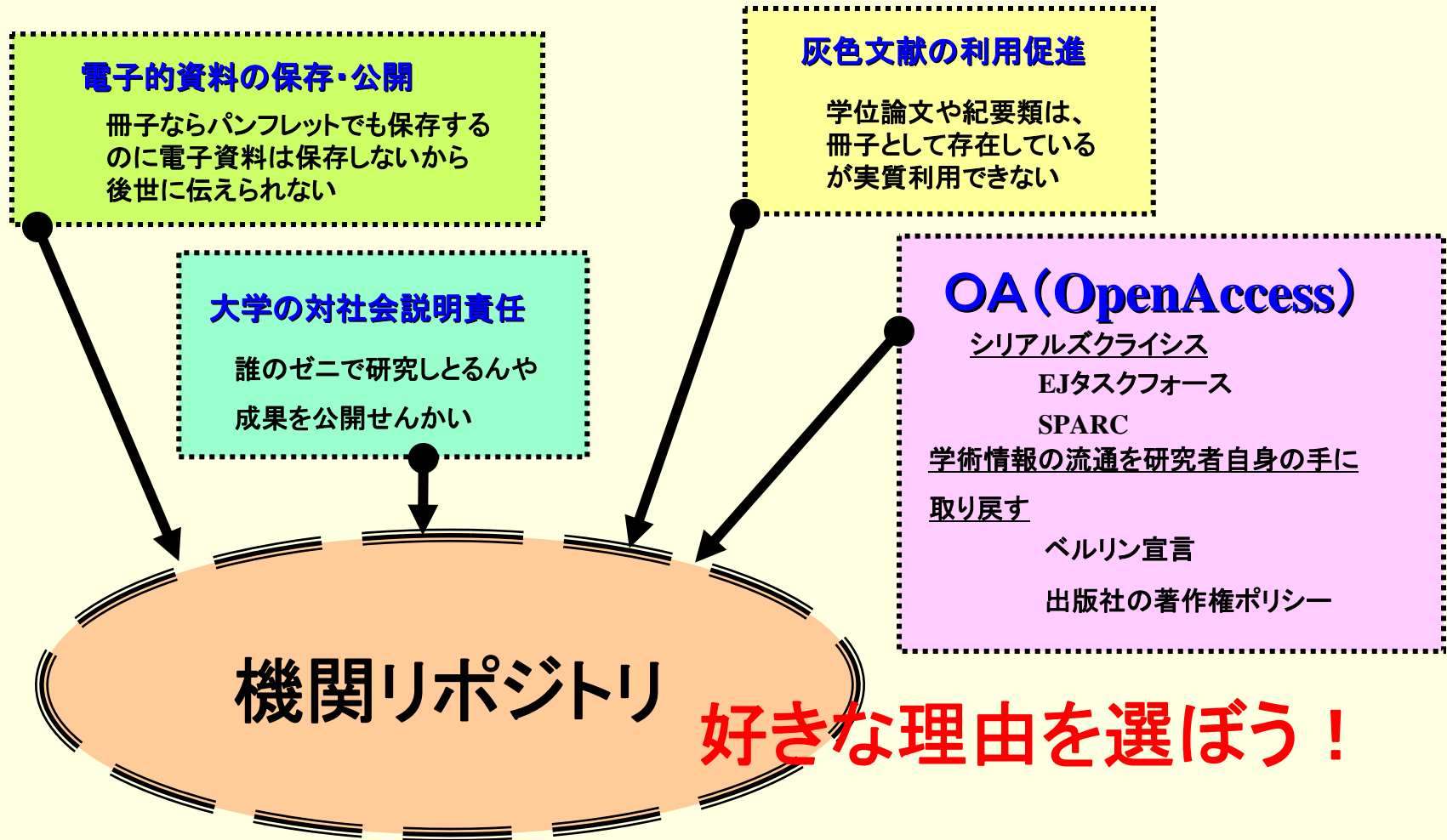
阪大みたいに失敗しないために……

理事・上層部の意向調査、関連組織・部署の把握、
大学にとってまた個々の教員にとってのメリットを整理

(2) いくらか実績を挙げてから学内合意形成？

紀要・博士論文の電子化は学部学科というより、編集
委員会と著者個人だから……、実績があれば予算も。

なぜ機関リポジトリをするのか？(1)



なぜ機関リポジトリをするのか？(2)

- 私は勝手に想像する……
 - 論文が読めずに困り果て、研究を研究者であることをあきらめようとするひとを。
 - 興味はあるけどやりたいけど、システムも著作権も予算もない、講演会でも専門的なコトばかり、相談できる人もいないと困る図書館員を。

なぜ機関リポジトリをするのか？(3)

そんなことない！！

なぜ機関リポジトリをするのか？(4)

しんぞいりけぞ、
おもしろいから

これから……

困ったら、いっしょに考えましょう。

(多分、阪大もまだその問題、解けてません)

元気の出る話があったら、教えてください。

(たまには元気の出る話を聴きたいです)

また機関リポジトリをネタに、集まりましょう。

(WSでもIR研修でも、図書館連携の話でも)

DRF-Senri にきてくれて、

ありがとう

おわりです